

強度行動障害

集中的支援のご案内

～「ミルキー★ウェイ」における居住支援活用型集中的支援～

地域生活を続けるための『3か月集中サポート』です。

施設へ預けることが目的ではなく、ご本人に合った支援方法を一緒に考えます。

対象要件や支援経過を踏まえ、本事業の活用が見込まれるケースについては、相談窓口へご相談ください（裏面参照）

このような
ケースはあり
ませんか？

○ 長期的な行き詰まり

現在の施設で努力を続けているが、支援がマンネリ化し、突破口が見えないケース

○ 在宅支援の広がり

在宅で頑張っているが、将来的なGH移行や、日中活動を広げるためにアセスメントしたいケース

○ 環境移行の準備

新しい事業所へ移る前に、その人に合った支援方法を整理したいケース

集中的支援で
行うこと

① 専門チームが本人の状態を整理

広域的支援人材を含む専門チームが、本人の行動の背景や要因を整理し、本人に合った支援方法を検討します。

② 本人の特性に応じた支援方法を検討

少人数の環境の中で、本人の特性や生活状況を踏まえ、環境調整や活動内容、関わり方などを検討・実践します。

③ 地域での支援につなげる

集中的支援で得られた支援方法や本人に関する情報を、現在又は今後の支援者と共有し、地域生活での支援につなげます。

※サービス利用等の調整が必要な場合は、担当の相談支援専門員を中心に関係機関で進めます。

実際の
活用事例

【施設】自傷・他害等の頻回

職員変更等を機に不安定に。3か月の利用で落ち着きを取り戻し、新たなスケジュール表と共に新しい施設での生活が始まりました。

【在宅】新たなサービス利用の準備

家庭内でのこだわりが強まったため利用。特性に合った環境調整を行い、短期入所サービス等の新たなサービス利用につながりました。

【通所】利用の中断

自傷・他害により通所が困難に。入所中に「落ち着ける活動」を再発見し、新しい生活介護事業所の利用につながりました。

対象となる人

- ・ 18歳以上の男性
- ・ 強度行動障害判定基準表で10点以上
- ・ 行動障害が続いており、支援者の工夫や家族の支えにより生活やサービス利用を維持しているものの、地域生活を続けるために専門的な支援方法の整理が必要な人

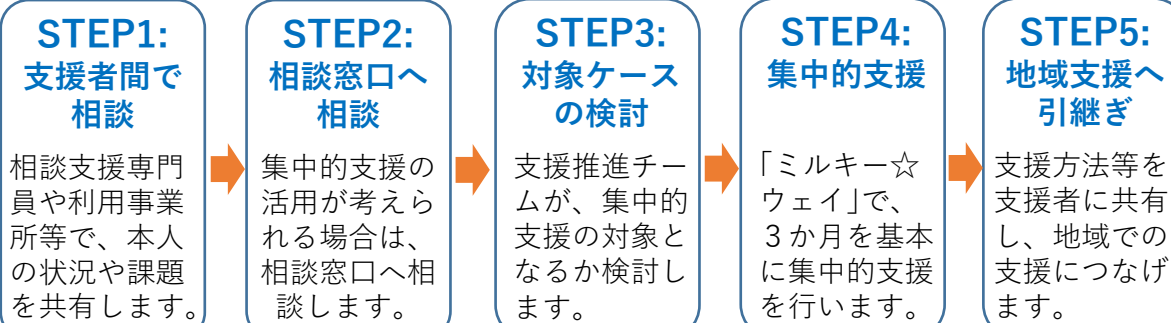
実施場所

「ミルキー☆ウェイ」

岡山市内の旭川荘愛育寮内に設置された、集中的支援のための専用ユニット。
定員2名の少人数制で、本人の特性に応じた環境調整や構造化を行いながら、専門的な支援を実施します。



利用の流れ



支援の流れ



○受入準備

- ・ 広域的支援人材との情報共有
- ・ 支援情報の収集、事業所等訪問 等

○集中的支援の開始

- ・ 広域的支援人材の助言・指導
- ・ 生活面の初期アセスメント
- ・ 個別支援計画、支援手順書作成 等

○集中的支援の実施（PDCA）

- ・ 広域的支援人材の助言・指導
- ・ 必要に応じて広域的支援人材や関係機関とのケース会議 等

○集中的支援終了時の引継ぎ

- ・ 当該利用者の状況等の共有
- ・ 環境調整などの助言援助 等

○集中的支援後のフォローアップ

○関係機関との連携の継続

相談窓口

対象者の支給決定が

岡山市以外の場合

おかやま発達障害者支援センター

電話：086-275-9277

岡山市の場合

岡山市障害福祉課
(集中的支援の制度・申請の相談)

電話：086-803-1235

岡山市発達障害者支援センター
(対象ケースの相談)

電話：086-236-0051